

SHINCHI

2025
No.652

新地

10

広報



第68回福島県中学校体育大会駅伝競走大会相双地区予選会
尚英中学校駅伝男子チーム優勝

(3ページに関連記事掲載)

新婚生活を 応援します！

町では、若い世代が安心して結婚や
新生活を始められるよう応援します。



新地町結婚新生活支援事業のお知らせ

町では、新婚生活を支援するため、新婚世帯を対象に婚姻に伴う住居費や引越費用のうち1世帯あたり30万円（29歳以下の世帯は60万円）を上限として補助します。

対象となる新婚世帯 次の要件を全て満たす世帯が対象です。

- ①令和7年1月1日から令和8年3月31日までに入籍し、町内に住居があり、夫婦の住所が対象となる住居にあること
- ②世帯所得500万円未満
※貸与型奨学金の返済をしている場合は、年間返済額を所得額から控除します。
- ③夫婦ともに婚姻日における年齢が39歳以下の世帯
- ④町税等の滞納がなく、他の公的制度の家賃補助を受けていないこと
- ⑤過去にこの制度の補助金を受けたことがないこと

対象となる費用 次の費用が対象です。

- ①新居の購入費
- ②新居の家賃、敷金・礼金、共益費、仲介手数料
- ③婚姻に伴い町内の当該住宅をリフォームする費用のうち、住宅の機能の維持または向上を図るために行う修繕、増築、改築、設備更新等の工事費用。（婚姻日より前に実施したリフォームについては、婚姻日から起算して1年以内に婚姻を機として実施した当該住宅のリフォームであること。）ただし、倉庫、車庫に係る工事費用、門、フェンス、植栽等の外構工事費用、エアコン、洗濯機等の家電購入・設置費用は対象外
- ④引越業者や運送業者に支払った引越費用

※費用の対象となる期間は、令和7年4月1日～令和8年3月31日です。

補助金額

1世帯あたり上限30万円（29歳以下の世帯は60万円）

申請期限

令和8年3月31日(火)（令和7年度事業分）

※補助申請総額が予算額に達した場合は、期間内であっても受付を締め切ります。

※申請方法の詳細については、お問い合わせください。

※申請書類は、保健福祉課で交付するほか、町ホームページよりダウンロードできます。

◎申し込み・問い合わせ 保健福祉課 こども家庭係（電話：62-2931）

ホームページ
はこちらから



第 68 回福島県中学校体育大会駅伝競走大会相双地区予選会

尚英中学校

駅伝チーム活躍！



1区阿部遥斗選手から2区只野結真選手へ襷リレー

9月9日、南相馬市の馬事公苑で「第68回福島県中学校体育大会駅伝競走大会相双地区予選会」が行われ、尚英中学校の男女駅伝チームが出場しました。

男子チーム（6名）は日頃の練習の成果を発揮し、スタートから一度も先頭を譲らず優勝を果たしました。女子チーム（5名）も力強くタスキをつなぎ、第5位と健闘しました。アンカーを務めた宮本大夢さんは、「優勝できてうれしい。県大会で他校と競えることを楽しみにしています。東北大会出場を目指して頑張ります」と意気込みを語りました。

男子チームは、10月15日に同会場で開催される県大会に相双地区代表として出場します。引き続き町民の皆さまの温かい応援をよろしくをお願いします。



第 78 回福島県総合スポーツ大会地域スポーツ大会相双地域大会

卓球チームが優勝！



9月14日、富岡町総合体育館をメイン会場に、大熊町・浪江町の会場も使用して「第78回福島県総合スポーツ大会相双地域大会」が開催されました。

大会には相双地域の各市町村から多くのチームが出場し、競技を通して交流を深めながら熱戦が繰り広げられました。本町からは、卓球競技、バドミントン競技、9人制バレーボール競技（相馬市との合同チーム）に出場しました。結果は卓球競技が優勝、バドミントン競技は予選リーグ第3位、9人制バレーボール競技は第5位という成績でした。

参加した選手たちは、お互いの健闘を称え合い、「来年も挑戦したい」と意気込みを語っていました。





2025 しんち観海フェス

新地駅前でにぎやかに開催されました



8月23日、新地町商工会青年部主催の「2025 しんち観海フェス」が新地駅前広場で行われました。

オープニングを飾ったのは新地小学校児童によるよさこい。続いて歌や踊り、楽器演奏など多彩なステージが繰り広げられ、会場は大いに盛り上がりました。来場者はフードブースや体験ブースを巡りながら、夏のひとときを楽しみました。

フィナーレの盆踊りでは、大人も子どもも一緒になって踊り、笑顔あふれる時間となりました。また、夜には、町内の保育所児童が描いたイラスト入りの提灯がライトアップされ、夏祭りの雰囲気をついそう彩りました。

第12回新地町長杯インディアカ大会

日頃の練習の成果を発揮

8月24日、新地総合体育館で「第12回新地町長杯インディアカ大会」が開催されました。

大会にはインディアカ愛好者33名が集まり、日頃の練習の成果を存分に発揮しました。大会結果は、次のとおりです。

一般混成		2mの部	
優勝	PORTER	優勝	Senex
準優勝	木曜会 A	準優勝	日の出 BLUE
第3位	木よう会	第3位	日の出 RED



道路河川愛護活動

ご協力ありがとうございました



7月の「河川愛護月間」と8月の「道路ふれあい月間」に合わせて、6月から9月にかけて町内30地区で道路河川愛護活動が行われました。

早朝から多くの住民が路肩や歩道の縁石まわり、河川周辺の草刈りなどを実施し、道路や河川がきれいに整備され、快適で安心できる環境づくりにつながりました。

尚英中学校職場体験

働くことの意義や社会人の役割を考える

9月24日から25日、尚英中学校の総合的な学習の時間「職場体験学習」が町内各事業所で実施され、2年生が参加しました。

この学習は、働く意義や社会人としての役割を考えることを目的として毎年実施されています。

役場で職場体験をした生徒たちは新地町児童館の「親子ヨガ」を取材し、記事として町のホームページに掲載しました。生徒からは「写真撮影から記事作成まで一貫してでき、やりがいを感じた」と振り返り、将来の進路や社会理解を深め、地域の仕事への関心を高めました。



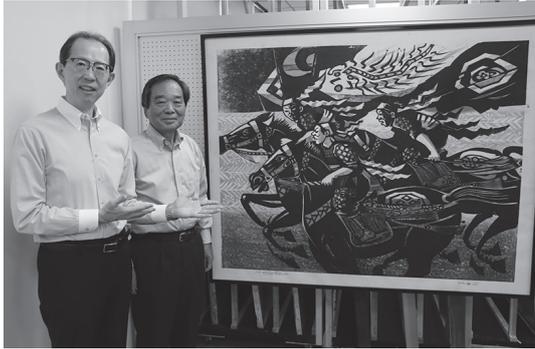
詳細は
はこちらから



中学生が
作成した記事

駒ヶ嶺公民館分館知事視察

内堀福島県知事が来町、絵画を見学



8月29日、内堀知事が駒ヶ嶺公民館分館を視察され、館内の絵画や郷土史資料を見学しました。分館は絵画や資料の収蔵と展示を目的に、令和5年に県の助成を受けて改修および整備を行いました。

知事は、志賀一男氏の野馬追版画、坂元郁夫氏の点描画、星茂氏の仏画、斉藤研氏の油絵、横山孝雄氏の原画などを鑑賞され、「9月20日から始まる新地町ゆかりの画家4人展・横山孝雄原画展を楽しみにしています」と語りました。

中学生が「メディアコントロール宣言」

メディアコントロールの大切さを呼びかけました

9月1日、尚英中学校の生徒会が町内の3小学校を訪問し、スマートフォン・タブレット・パソコン・ゲーム機・テレビなどインターネットにつながる機器との上手な付き合い方「メディアコントロール」の大切さを呼びかけました。

生徒会から各小学校の校長先生に「メディアコントロール宣言書」を手渡し、小学生は中学生が収録したVTRを視聴し、正しい情報の受け取り方と適切な利用時間について改めて考える機会になりました。



土器づくり教室

縄文時代の知恵と技にふれる



9月6日、新地公民館で「土器づくり教室」が開催されました。講師には、元東北歴史博物館学芸員で現在は尚絅学院大学講師の菊地逸夫氏をお迎えし、縄文土器の作り方を学びました。

先生の説明が終わった後、参加者は粘土を使って底の部分から成形を開始。ひも状に伸ばした粘土を一段ずつ重ねていき、オリジナルの土器づくりに挑戦し、時間を忘れて熱心に制作に取り組んでいました。

最後には野焼きによって本格的な縄文土器が完成します。

スポーツ激励金交付式

激励金を交付し健闘を祈る

9月18日にスポーツ激励金交付式が行われ、出場する選手一人ひとりに大堀町長から激励金が手渡されました。氏名と大会名は以下のとおりです。(敬称略)

阿部 正位 (F・T・T・K) (写真中央)

大会名 第14回全国ねんりんバドミントン交流大会

荒 司 (写真左)、柳澤 由美

大会名 日本スポーツマスターズ2025 空手道競技大会



百歳賀寿贈呈式

西原ミサヨさん、加藤サタさんの満 100 歳をお祝いしました



8月28日、100歳を迎えた西原ミサヨさん（杉目）の賀寿贈呈式が自宅で行われ、町・町議会・県から記念品と祝い金が贈られ、西原さんの長寿を祝いました。

西原さんは「くよくよせず、日々感謝の気持ちを忘れないこと」が長寿の秘訣だと話されました。（写真左）

9月1日には加藤サタさん（新地ホーム）も100歳を迎え、誕生日に新地ホームで賀寿贈呈式が開かれました。

町・町議会・県から記念品と祝い金が贈られ、加藤さんの長寿を祝いました。加藤さんは旅行が好きで、84歳頃まで海外旅行を楽しんだエピソードが紹介されました。

長寿の秘訣は「よく働き、好き嫌いなく食べること」と話されました。（写真右）



令和7年度敬老会

長寿とご功労を祝う

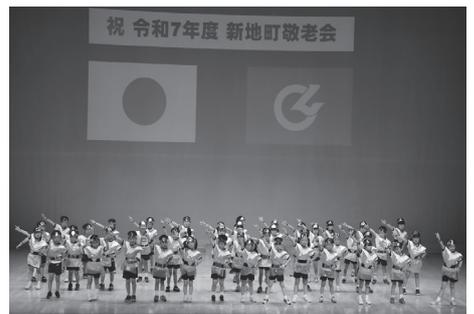
長年にわたり町の発展にご尽力いただいた高齢者の皆さんを敬い、長寿をお祝いする「令和7年度新地町敬老会」が、9月13日に町文化交流センターで開催されました。

式典では、大堀町長から

- ・敬老祝金：寺島吉一さん
 - ・長寿表彰：佐藤タケ子さん
 - ・長寿夫婦表彰：中津川昭一さん・貞子さんご夫妻
- へ、それぞれ代表として贈呈されました。

また、結婚50年を迎えたご夫妻7組を代表し、大須賀昇さん・けさ子さんご夫妻に、福島民報社と福島県老人クラブ連合会から金婚夫婦記念品が手渡されました。

被表彰者を代表して寺島吉一さんが謝辞を述べられた後、アトラクションとして米山愛子さんによる歌謡ショー、町内3保育所の子どもたちによる歌や遊戯が披露され、会場は終始和やかな雰囲気になりました。



チャレンジしんち佐藤福忠さん

92歳現役で元気に活躍！



新地町総合体育館で定期的に行われている新地町総合型地域スポーツクラブ「チャレンジしんち」ラージボール卓球教室には92歳の佐藤福忠さん（富倉）が今でも現役で活躍されています。（写真左）

佐藤さんは自宅から自転車で体育館に通い、参加者の皆さんと一緒にラージボール卓球を楽しんでいます。

つい最近までシルバーダンスにも参加されており、その元気な姿に周囲から驚きと尊敬の声が寄せられています。健康の秘訣について、「毎朝、頭と足を何度もマッサージしていること」と笑顔で語ってくださいました。

おおいたっ子ふくしま訪問ツアー

感謝の気持ちを込めて招待



8月1日から3日までの3日間で、招待企画「おおいたっ子ふくしま訪問ツアー」が行われ、大分の小学5、6年生17名を新地町へ招待しました。この企画は、交流を通じて相互理解と地域交流を深める取り組みです。平成25年度から7年間続いた「ふくしまっ子応援プロジェクト大分体験活動」に対する感謝の気持ちをこめて実施されました。

初日には歓迎レセプションの後、釣師防災緑地公園パークセンターで震災語りびとである川上照美さんのお話を聴き、東日本大震災の経験と教訓を学びました。

2日目は地元小学生が合流し対面式を行い、石油資源開発株式会社での液体窒素を使った化学実験を体験。続いてスマイルドームでモルックに挑戦し、バーベキューと遊海しんちの花火を鑑賞し交流を深めました。

3日目には海釣り公園で釣りを体験し、新地の自然を満喫しました。

最後には震災遺構の山元町立中浜小学校を訪問し、津波の威力と災害への備えの大切さを実感する機会となりました。代表児童から教育委員会へ感謝の気持ちを述べ、「まだ新地にいたい」と別れを惜しむ声もありました。



第29回 姉妹・歴史友好都市 シニアリーダー研修・交流会

自ら考え行動しリーダーの資質を高める



8月6日から8日までの3日間、「第29回姉妹・歴史友好都市シニアリーダー研修・交流会」が開催されました。

新地町・北海道伊達市・亘理町・柴田町・山元町から19名の中高生が参加し、仲間との交流や体験を通してリーダーとしての資質を高めました。今回、新地町からは5名の中高生が参加しました。

防災緑地公園のパンプトラックや海釣り公園での釣り体験、灯火のつどいやスタンプなど、レクリエーションやグループ活動を通じて仲間と協力する楽しさやリーダーシップの役割を笑顔で楽しく学びました。

新地町から参加した牛渡こはるさん（相馬高等学校2年）は、「皆さんのおかげで、多くの経験を積めた。今後も参加したい」と振り返りました。



新地町企業紹介 vol.15

新入社員募集中!!

株式会社リード ~さてそのつぎは~

未来のモノづくりをとことんサポートする

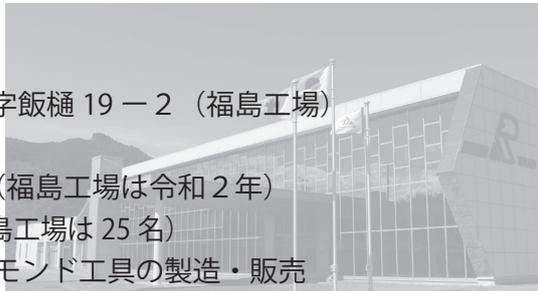
株式会社リードは、半世紀以上にわたり「品質」と「革新」という企業価値を追求し、エレクトロニクス分野における超精密加工工具の開発・製造・販売で成長・発展してまいりました。主力製品である「ダイヤモンドブレード」はハードディスク分野において、「オンリーワン」の独自技術を基盤に日本のモノづくりを支える存在として確固たる地位を築いています。(世界シェア 95%)「ダイヤモンドワイヤー」は半導体部品の加工に活用され、スマートフォンや電気自動車など身近な製品の製造を支えています。

当社では、社員が安心して挑戦・成長できる環境づくりに力を注いでおります。社員全員に「自己啓発手当」を支給のほか、大学や研究機関などで学ぶことを奨励する「学び直し制度」を設けており、技術力と人間力の両面で成長できる企業です。(費用は会社負担) 更に、社員の健康と交流を促進し健康経営優良法人として6年連続で認定を受けています。また、若者の雇用促進に優れた企業として、ユースエール認定も取得しています。

今後も環境配慮と社会的責任を重視し、社会から必要とされる企業を目指して、未来のモノづくりをサポートしてまいります。

会社概要

- 所在地 新地町杉目字飯樋 19-2 (福島工場)
- 代表者 鍋谷 陽介
- 設立 昭和48年 (福島工場は令和2年)
- 社員数 190名 (福島工場は25名)
- 事業内容 各種ダイヤモンド工具の製造・販売



社員にインタビュー!

入社2年目
佐藤さん



業務はブレードの製造を担当

やりがいについて

努力した分をきちんと評価してもらえるので、「次は何かできるか」と常に考えながら仕事に向き合えることが大きなやりがいです。

★ 大事にしていること

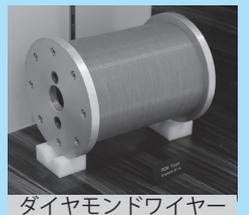
自分の工程は次の作業につながるため、後工程のためにも品質を意識して取り組むことを大切にしています。

♥ 会社の魅力

困ったときには気軽に相談でき、いつも誰かが支えてくれる環境があります。頑張った分をしっかり評価してもらえるので、成長を実感しながら働けるのが魅力です。



ダイヤモンドブレード



ダイヤモンドワイヤー



ホームページ



Instagram

8月23日に開催された観海フェスに出演。親しみある曲を多彩に演奏し、多くの観客が軽快なリズムに合わせ、会場は笑顔と楽しい音楽であふれていました。



活動内容

- 人数 17名
- 活動場所 勤労者体育センター (町民プール) 2階
- 活動日時 毎週水・土曜日 18時30分~20時

代表からの一言

結成から50年目を迎えました。歌も取り入れながら、楽しく明るく愉快地に、町内を中心にステージイベントやコンサートで演奏を披露しています。元気な音楽を届けられるよう、メンバー全員で日々練習に励んでいます。

音楽が好きな方、楽器を演奏してみたい方、私たちと一緒に楽しく活動してみませんか。

新地町の

文化協会活動紹介

今回、紹介する団体さんは...

ウイングポップス楽団

です!!

vol.4

UDC しんちでは、新地町内のさまざまな活動を支援しています！今回も活動内容について紹介します！

○関係人口創出プログラム

新地町の観光振興と関係人口の創出を目指し、町の魅力を発信するコンテンツづくりなどの活動を進めています。サイクルツーリズムのコース選定にも取り組んでいます。

現在は、コミュニティ活性化をねらいとした住民ディレクター企画を実施中！住民の皆さんが主体となって新地の魅力を情報発信します♪ご興味があればぜひご連絡ください。

○10月の活動予告

- ・東大柏の葉キャンパス一般公開 24日、25日

○9月の活動内容

- ・コモンズしんち：毎週火曜日 10時から 15時まで
- ・地域食堂あんしんち：21日開催！福田・勤労青少年ホームにて、大盛況となりました。
次回は11月開催予定です！
- ・目白大・新地満喫ツアー：1日～3日、目白大学の学生が新地について調べ、実際に自分たちで魅力を体験、どうやったらもっと知ってもらえるかを考えました。



- ・イノベーションコースト構想推進機構復興知事業成果報告会：5日
- ・あなたも住民ディレクター！：13、14日
住民自身が地域の魅力を再発見、伝える活動を亜細亜大学がサポート！
新地在住同士の取材が冴え渡る2日間でした。映像化が楽しみです！
- ・尚英中・環境エネルギー学習プログラム：9月25日 中学生たちが大学の先生たちによる気候やエネルギーに関する授業を真剣に受けました。
- ・新地町エネルギースタディツアー：26日、27日
関係人口創出プログラムの一環として、エネルギー関連施設の視察を実施しました。脱炭素、産業振興、地域活性化など、多角的に考え、理解を深めました。
- ・ららぽーと柏の葉・東大フェア：9月26、27日 2日間にわたり、ららぽーと柏の葉で新地町をPR！
たくさんの方に新地町を知ってもらいました♪



UDCは引き続き新地町でさまざまな活動を応援します！二次元コードはこちら→



あんしんち



UDC しんち

図書館へ行こう

Let's go to Library

＝新着本・CD・DVDのご案内＝



10月の読み聞かせ会

日時 10月18日(土)
11時～11時30分

「おいしいものとれたよ！」をテーマに、読み聞かせや工作などを行います。

◎一般書

『天下の値段』

門井 慶喜
文藝春秋



時は江戸時代、大阪堂島で特に盛んだったのが先物取引。幕閣は堂島を支配すべく動き出すのだが…。市場の自治を守らんとする大阪商人たちと、武士の誇りを懸けた江戸幕府との頭脳戦。

◎児童書

『そうだ、いいものつくってあげる!』

アシュリー・スパイアーズ 絵本塾出版



女の子といぬは、なかよしコンビ。ある日、女の子は「いいものつくってあげる!」とがんばります。でもなかなかうまくいかず、いらいらしていました。すると、いぬが女の子を散歩にさそって…。

- 『36歳、初めて推しができました。』 凧 倫子
- 『ニュースが消える日』 堂場 瞬一
- 『ギプス』 片島 麦子
- 『トコトコおじさん山歩き』 増田 俊雄
- 『本気で考えよう!自分、家族、そして日本の将来』
- 『忍者の技術解剖図鑑』
- 『ゾクゾクするほど面白い始皇帝と春秋戦国時代』

- 『ローマの休日』 蜂八 優月
- 『1年1組せんせいあのね2』 鹿島 和夫
- 『いちにちぶんぼうぐ』 ふくべあきひろ
- 『くまのおやこのきょうはさかなつり』
- 『おかしなヒミツ研究所』
- 『きみだけの幸せって、なんだろう?』
- 『犬のすべて』

◎CD

- 『Gen』 星野 源
- 『Human Universe』 角野 隼斗

◎DVD

- 『お終活 再春!』
- 『はたらく細胞』

!!《トピックス》!!

『秋の読書週間事業 有名作家、人気作家の紹介と図書案内』

10月18日(土)～11月30日(日)



10月27日から始まる全国の読書週間に先立ち、来館者へ手作り読書手帳を配布、「たくさん読んで読書くじ」等を行います。

『郷土資料展 しんちの食』

11月16日(日)まで

新地の食について、特産物を紹介する本やレシピ集などを1か所に集めました。ぜひご利用ください。

《展示コーナー》



『季節のおすすめ絵本～おつきみ・ハロウィン
おてがみ・かみさまって、どんなひと～』
10月30日(木)まで

図書館カレンダー(10月)

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

■は休館日

ホームページ
はこちらから



図書館
ホームページ

図書の内容説明はTRCMARCより引用しています。表紙画像は図書館所蔵本を使用しています。

◎問い合わせ 図書館(電話:62-5031)

あんこ地蔵と盆踊り

—300年続く小川の伝統—



8月17日、小川地区の二羽渡神社で「あんこ地蔵」の供養と盆踊りが行われました。朝から自治会の方々が集まり、女性2人がお地蔵さんの口元にあんこを塗る供養を行いました。塗り進めるうちに、顔は半分があんこで黒く染まりました。その後は、地元子どもたちが縁日やスイカ割りを楽しみ、夕方からは住民が仮装して盆踊りを盛大に踊り、お地蔵様に感謝を捧げました。



あんこ地蔵の起源は、江戸時代の元禄年間（1688～1704年）にさかのぼります。

全国を巡っていた「家山（かさん）」という和尚が、小川村（当時）の自然と災害の心配がない温暖な気候を気に入り、定住しました。

子ども好きで村人から厚く信頼され、「子安家山坊」とも呼ばれ親しまれたと伝えられています。

晩年、地域の人々を救いたいとの思いから、丸森大内の石工に依頼してお地蔵様を建立。家山は人々の幸せを願いながら永眠しましたが、「小川のおんこ地蔵さま」と親しまれ、時代が移り変わっても小川の人々は家山を忘れることなく、毎年月遅れのお盆にあんこもちを作って地蔵さんにあげ、盆踊りをして供養する習わしが続いています。

この伝統は現在も小川自治会を中心に受け継がれており、約300年にわたって続いています。

歴史に詳しい小野俊雄さん（小川）によると「家山は三重、静岡や神奈川などで暮らしていた記録がある。京都を中心に近畿地方では一般的な行事である子どもの健やかな成長を願う「地蔵盆」をこの地に定着させようとしたと考えられる。また、大きなお地蔵さんの顔にあんこを塗るというユニークさが人々の関心を集め、途切れることなく受け継がれてきた理由だと思う。」と語ります。

小野さんは家山の足跡を調べ、現静岡県伊豆市出身で、全国を巡った僧侶で、宮城県角田市にある長泉寺の第16代の住職を務め、元禄8年に亡くなったことを突き止めました。同寺には墓石が残されています。令和元年に静岡の生家に手紙を送ると、長く受け継がれている伝統にその末裔の一家が感激し、盆踊りに足を運んでくれました。今でもその交流が続いています。

◎問い合わせ 教育総務課 文化振興係（電話：62-2085）

保育所から
こんにちは
駒ヶ嶺保育所

栄養たっぷり

温かいご飯でウイルス撃退

抵抗力を養う

鍋一つで簡単にできる

「人気メニュー」

疲れが出てくるこの季節、栄養不足・寝不足などにより体力が落ちると、体調を崩しやすくなります。

これからの季節にぴったりの、栄養満点の人気メニュー2品を紹介します。



【 鶏ひき肉のスープ ・ スタミナ納豆 (4人分) 】

〈スープの材料〉
じゃが芋 2個 (いちょう切り)
玉葱 1/2 (スライス切り)
人参 1/3 (いちょう切り)
水 1リットル
しょうゆ 少々
鶏ガラスープの素 少々

〈スタミナ納豆の材料〉
鶏ひき肉 100g
納豆 3パック
ニラ 1/4束 (みじん切り)
ねぎ 1本 (みじん切り)
人参 1/3本 (みじん切り)
キャベツ 3枚 (みじん切り)
焼き肉のタレ (お好みで適量)
しょうゆ 少々 (甘口タレの場合)

〈作り方〉

- ① 鍋に分量の水 (スープの材料) を入れて火にかけ、煮立ったら「スタミナ納豆」用の切った野菜 (にら・ねぎ・人参・キャベツ) を入れる。茹で上がった具材のみを (煮汁は取っておく) ザルに取り、水気を切る。
- ② その鍋に鶏ひき肉を固まりのまま入れ、肉の固まりが残るように煮る。ひき肉から出たアクは、ていねいに取り除く。ひき肉に火が通ったら火を止め、すくい取る。煮汁はスープにとっておく。
- ③ 納豆に①②を加え、焼き肉のタレで味つけをしたら、完成!
- ④ 「スタミナ納豆」の材料を茹でた煮汁に、「スープの材料」(じゃが芋・玉葱・人参) を入れて煮込む。
- ⑤ 野菜が煮えたら、鶏ガラスープ素で味をととのえ、お好みで醤油を少々入れる。
短時間で、うまみがでるスープの完成!

「メニューのポイント」

「ひき肉」は茹でることで短時間でも、うまみをしっかり引き出したスープに!

お肉と納豆をニンニク・生姜が入った「焼き肉のタレ」で和えることで、スタミナ満点の栄養たっぷりメニューに!

ウイルスに負けない体を作るためには、外敵と戦う免疫機能を高める栄養のある食材を食べ抵抗力をつけるといいですね。

△年長児お楽しみ会

「ピザ作り」



子どものご言ひ

(4歳児男女)

おでかけごっこをしていて、
Aくん

「さあ、プールにいくよ!」

1時間位かかるからね!

Bちゃん「はい!」

そのやりとりを見ていて、

保育士「車で行くの?」

Aくん「歩いてだよ!」

保育士「暑くて大変だよ!」

Bちゃん

「大丈夫!ちゃんとお水あるから!」

日々の経験から熱中症対策

も身に付き、バッチリです

ね!

10月の行事予定

○運動会

4日 3保育所

○秋の遠足

10日 駒ヶ嶺保育所

14日 福田保育所

24日 新地保育所

●育児サロン

随時受け付けています。



子どもはおもちゃが大好き。遊びの中で次々とおもちゃを変え、既製品だけでなく、身近にあるものをたちまち「おもちゃ」にして遊びに変えてしまう天才です。

今回のたんぽぽひろばでは、身近な素材「新聞紙」を使って遊びました。新聞紙に切り込みを入れ、大人が引っ張ると「びりびり」と音がします。その音が楽しくて、何度も破くと子どもたちは大喜びです。破いた新聞紙がいっぱいになると、次はそれを細かくちぎって「新聞紙のシャワー」にして頭上からかけて楽しみました。また、1枚の新聞紙を折ったりちぎったりしてそれぞれの形を変える「新聞紙の冒険」と題した折り紙をしました。新聞紙

身近な素材を使って「新聞紙であそぼー！」

で船を折り、船首を切り取るとTシャツのような形に大変身した場面には「不思議だね。」とお母さんも驚いていました。さらに、新聞紙を細く丸めて棒状にし「スイカ割り」をしたり、細長く畳んで床に線路のように並べ、その上を歩くゲームもしました。

ご家庭でも「新聞紙」を使った遊びをぜひ試してみてください。



子どもたちの豊かな創造力で、身近な新聞紙が楽しい「おもちゃ」になるだけでなく、破いたり、ちぎったり、丸めたりする作業は遊びながら指先の発達にも役立ちます。

たんぽぽひろばの予定

月日	内容	場所
10月22日(水)	応急処置のお話と消防自動車見学	児童館
11月5日(水)	楽しいパネルシアター	児童館

母と子の健康 スケジュール

健康診査等	対象者	日時(受付時間)
3歳児健診	令和4年4月～6月生	10月20日(月) 13:00～13:15
バンビ広場	0歳～未就学児	10月21日(火) 9:30～10:00

※年間行事予定は「子育て支援サイト」をご確認ください。

子育て支援
サイト
ホームページ



※乳幼児健診の際には、『母子手帳』『バスタオル』『問診票』を持参してください。当日体調が悪い方や、都合の悪い方は、保健センターにご連絡ください。

※バンビ広場では、身体計測や栄養・育児相談を行っています。遊びのスペースを設けていますので、お子さんと一緒に参加してください。

※医療機関で妊娠の診断を受け、出産予定日が決まりましたら、保健センターより「母子健康手帳」と「母と子の健康のしおり」を交付します。随時対応していますので、保健センターにご連絡ください。

◎問い合わせ・会場 保健センター（電話：62-2096）

新地町児童館ご利用案内

開館時間 月曜から土曜 10時から18時
 休館日 日曜日・祝日・年末年始
 午前 なかよしひろば（月曜から土曜）
 たんぽぽひろば（月2回）
 午後 児童クラブ
 ※土曜・長期休業期間は8時から18時

◎問い合わせ 児童館（電話：62-4432）

暮らしの情報



乗るなら確認「自賠責」お忘れなく！

交通事故による死傷者数は年々減少傾向にあるものの、令和6年の交通事故発生件数は約29万件、死傷者数は約35万人と、誰もが交通事故の被害者にも加害者にもなり得る極めて深刻な状況です。

交通事故は車社会の負の部分であり、被害者にとっても加害者にもつらい結果をもたらします。

自賠責保険・共済は、すべてのクルマ、バイク1台ごとに加入が義務づけられており、加害者の賠償責任を担保することで、被害者

の基本的な賠償を保障する制度であり、被害者救済を目的としています。

制度の仕組みと支払いの流れを、一人ひとりが理解することが大切です。

自賠責保険・共済未加入での運行は法令違反です！

自賠責保険・共済は、万一の交通事故の際の基本的な対人賠償を目的とし、自動車損害賠償保障法に基づき、原動機付自転車を含む全ての自動車に加入が義務付けられており、自賠責保険・共済なしで運行することは法令違反ですのでご注意ください。

特に、車検制度のない250cc以下のバイク（原動機付自転車・軽二輪自動車）は、有効期限切れ、かけ忘れに注意してください。

◎問い合わせ

東北運輸局 福島運輸支局
☎024-546-0345

詳細はこちらから



自賠責保険・共済ポータルサイト

行政相談月間

9月および10月の2か月間は「行政相談月間」です。

役所（国、県、町）等の仕事に関する苦情や困りごと、心配ごと、分からない点、要望などの相談に応じ、解決へお手伝いします。

行政相談員は行政相談月間期間中、次の日時で特設相談所を開設します。相談は無料、秘密は厳守します。お気軽にご利用ください。

行政相談員 寺島 登氏
特設相談所開設日時
10月26日(日) 10時～12時

場所

新地町図書館視聴覚室

◎問い合わせ

総務課 総務係
☎62-2111

個人事業税（2期）納税のお知らせ

県では、個人で事業を営む方へ、個人事業税の課税対象となる方には、8月に納税通知書をお届けいたします。2期分は、11月10日

に発送する予定です。

納期限は、12月1日となりますので、忘れずに納めましょう。

なお、所得税の確定申告の時期により、納期が異なる場合があります。

※個人事業税とは、個人で事業を営まれている方について、所得税申告をもとに課税される税金です。

◎問い合わせ

相双地方振興局
県税部課税課事業税チーム
☎26-1126

特定疾患患者 見舞金の支給

町では、特定疾患患者の方へ見舞金を支給します。

支給対象者

令和7年10月1日時点で新地町に住民登録があり、指定難病医療費受給者証・

小児慢性特定疾病医療受給者証・特定疾患医療受給者証のいずれかをお持ちの方。なお、未成年の場合、生計を同一にする保護

者が対象です。

支給額 2万円

申込期限 11月28日(金)

申込に必要な書類等

①申請書（保健福祉課窓口で交付するほか、町ホームページからダウンロードできます。）

②受給者証の写し（「指定難病医療費受給者証」・「小児慢性特定疾病医療受給者証」・「特定疾患医療受給者証」のいずれか）

③申請者の預金通帳（口座番号がわかる面）の写し

④印鑑

⑤保護者が申請者の場合は、保護者本人確認書類（運転免許証・マイナンバーカード等）の写し

◎申し込み・問い合わせ

保健福祉課 福祉係
☎62-2931

ホームページはこちらから



教育委員会委員 に小林成子さんを再任

教育委員会委員の任期が令和7年9月30日で満了になることから、令和7年9月定例議会において小林成子さん（作田）が議会の同意を得て再任されました。任期は令和7年10月1日から令和11年9月30日までの4年間です。



▲小林 成子 委員

保育所入所申込受付

町では、令和8年4月から、新たに保育所に入所を希望する方の申込み受付を、次の日程で行います。

入所申込書類等は、各保育所・保健福祉課で交付するほか、町ホームページからダウンロードできます。

◎申し込み・問い合わせ
保健福祉課 こども家庭係
☎62-2931

ホームページ
はこちらから



子育て支援サイト
ホームページ

受付場所	受付日時	対象年齢
福田保育所 電話：62-3595	11月12日(水) 9時～12時 13時～16時	満1歳（令和8年4月1日までに満1歳を迎える乳児を含む）～就学前
駒ヶ嶺保育所 電話：62-3009	11月13日(木) 9時～12時 13時～16時	満1歳（令和8年4月1日までに満1歳を迎える乳児を含む）～就学前
新地保育所 電話：62-2277	11月14日(金) 9時～12時 13時～16時	3か月（令和8年4月1日までに満3か月を迎える乳児を含む）～就学前

不動産に関する 無料相談会

（公社）日本不動産鑑定士協会連合会では、不動産に関する無料相談会を次のとおり開催します。

不動産に関する相続時の分け方、売却や賃貸する場合の価格の決め方、土地の有効的な活用方法など、専門の不動産鑑定士が相談に応じます。

相談を希望される方は事前予約をお願いします。

日時 11月15日(土)10時～15時

場所 役場101相談室

相談時間 1人30分以内

申込期限 11月10日(月)

その他 相談したい物件の地図・公図・登記事項証明書・固定資産のリストなどを当日ご持参いただければより詳しい相談ができます。

◎予約・問い合わせ

税務課 資産税係
☎62-2119

不正軽油撲滅 強化月間

県では、10月を「不正軽油撲滅強化月間」と定め、関係団体と協力して、不正軽油の排除に取り組んでおられます。

軽油に課税される軽油引取税を脱税する目的で、軽油に灯油や重油を混ぜるなどして製造される「不正軽油」が正常な軽油と偽って販売、使用されている事例があります。

「不正軽油を作らない・売らない・買わない・使わない。」

不正軽油の防止・撲滅には、皆さまのご協力と情報提供が欠かせません。

情報提供は、県庁総務部税務課または相双地方振興局県税部へご連絡ください。

◎問い合わせ

不正軽油ホットライン

（県庁総務部税務課）

☎024-521-7205

相双地方振興局県税部

☎26-1127

予防接種の助成について

町では、インフルエンザおよび新型コロナウイルス感染症の予防を目的に、予防接種の助成を実施します。

インフルエンザ予防接種助成

■助成期間 令和8年1月31日(土)まで

■対象者 ①6か月児～高校生

②65歳以上の方

③60歳～65歳未満で、心臓、じん臓、呼吸器の機能の障がいまたはヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に障がいのある方（身体障害者手帳1級相当）

■接種方法（皮下注射）

6か月～13歳未満の方 2回

13歳以上の方 1回

（経鼻薬） ※今年度より経鼻ワクチンも助成対象となりました。

2歳～高校生 1回

■接種費用（皮下注射）1回目 自己負担 1,200円（町助成 4,000円）

2回目（6か月～13歳未満） 自己負担 1,200円（町助成 2,060円）

（経鼻薬） 自己負担 5,500円（町助成 4,000円）

■助成を受けられる医療機関 ①6か月児～高校生（新地町・相馬市・南相馬市内の医療機関）

②65歳以上の方（県内医療機関および宮城病院（山元町））

③60歳～65歳未満（疾患のある方）（②と同様）

ホームページ
はこちらから



新型コロナウイルス感染症予防接種助成

■助成期間 令和8年3月31日(火)まで

■対象者 ①65歳以上の方

②60歳～65歳未満で、心臓、じん臓、呼吸器の機能の障がいまたはヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に障がいのある方（身体障害者手帳1級相当）

■接種回数 1回

■接種費用 自己負担 2,100円（町助成 13,500円）

■助成を受けられる医療機関 県内医療機関

ホームページ
はこちらから



償還払について

前記以外の医療機関で接種される場合は、医療機関窓口で一旦全額を支払った後、領収書・接種済証・振込先口座が確認できる書類・印鑑を持参のうえ、保健センターに申請してください。申請期限は、令和8年3月31日(火)までです。

予診票

予診票は、各医療機関、役場保健福祉課、保健センターにあります。

※ワクチン接種時、予診票と「マイナ保険証等」を医療機関に持参してください。

※医療機関での混雑を避けるため、予診票は事前に記入し、出かける前に体温を測り、体調を確認し、マスクを着用してお出かけください。

※対象者のうち、生活保護世帯の方は、自己負担なしです。「生活保護受給者証明書」を事前にもらい、接種時に医療機関に提出してください。

※予防接種の期間や対象者は医療機関により異なりますので、事前に各医療機関にお問い合わせください。

◎申請・問い合わせ 保健センター（電話：62-2096）

令和7年度新地町文化祭

『令和7年度新地町文化祭』を下記のとおり開催します。

今年は新地町文化協会会員と小中学校の児童生徒が参加し、作品展示やステージ発表を行います。皆さまお誘いのうえ、ぜひご来場ください。

作品展示

11月2日(日)～5日(水) 9時～16時(最終日は12時まで)

内容：文化協会会員作品、小中学校児童生徒の作品
および縄文土器製作作品を展示

式典・ステージ発表

11月2日(日) 9時～14時頃

出演：新地町文化協会会員、新地小学校よさこい
尚英中学校吹奏楽部(映像を放映)

場所：新地町文化交流センター(観海ホール)

主催：新地町文化協会

後援：新地町、新地町教育委員会、福島民報社、
福島民友新聞社



◎問い合わせ 教育総務課 文化振興係(電話：62-2085)

ふくしまポータル
ダウンロードキャ
ンペーン実施中！

県が公開している「ふくしまポータル」は、さまざまなサービスの利用や、生活に役立つ情報が受け取れる総合窓口アプリです。アプリをダウンロードするとプレゼントが当たるキャンペーンを実施していますので、ぜひダウンロードをお願いします。

特典 抽選で宿泊券や名産品等が、2,500名様に当たります。

応募方法

専用ページ(「ふくしまポータルキャンペーン」と検索)の応募フォームから応募
応募期限 12月31日(水)

◎問い合わせ

キャンペーン事務局(福島県デジタル変革課委託)
☎024-935-6175

テレビ受信障害対
策工事について
(700MHz利用推進協会)

携帯電話の新しい電波利用開始に伴い、テレビ映像に影響が出るおそれのある地域には一般社団法人700MHz利用推進協会よりチラシを配布する予定です。

電波利用開始日の10月16日以降に影響が出た場合は協会が無償で対策工事や回復作業を行いますので、左記コールセンターまでご連絡をお願いします。

◎問い合わせ

700MHzテレビ受信障害対策コールセンター
※受付時間 9時から22時まで(年中無休)
☎0120-700-012
(フリーダイヤル)
右記の番号につながらない場合
☎050-3786-0700
(有料)

里親入門講座

ふくしま里親相談センターでは、浜児童相談所と合同で里親制度や子ども福祉に関心のある方を対象とした里親入門講座を開催します。

内容 講義「里親制度について」/里親体験談

日時 10月24日(金)14時～16時

定員 20人

場所 道の駅南相馬ホール
(南相馬市原町区高見町二丁目30-1)

参加費 無料

申込期限 10月20日(月)

申込方法 必要事項(氏名・人数・お住まいの市町村、連絡先)を記入のうえ、電話・メール・ファックスのいずれかで申し込みください。

☎090-1080-9664

◎申し込み・問い合わせ

ふくしま里親相談センター

FAX: 024-983-7708

メール: fostering@hoshijitai.jp

ホームページ
はこちらから



ふくしまポータル
キャンペーンサイト

ホームページ
はこちらから



700MHz利用推進
協会ホームページ



ふくしま里親相談
センターInstagram

JR東日本から重要なお知らせ

線路内に木や竹が倒れないように樹木の管理をお願いします

線路内に木や竹が倒れると列車に衝撃し、お客さまに被害を与える危険性や列車の脱線、停電事故、信号トラブル等の原因となる可能性があります。

以下の場合、JR東日本へご連絡をお願いします。

- ・線路のそばで伐採を行うとき
- ・線路内へ倒れそうな木や竹を発見したとき
- ・木の枝や倒れた木、竹が電線に触れているとき



ご要望・ご意見
はこちらから

◎問い合わせ

ご意見・ご要望の受付については、右記二次元コードからお願いします。



JR東日本
ホームページ

【平日の連絡先（土日祝日、12/29～1/3を除く）】 【休日の連絡先（土日祝日のみ）】

JR東日本ご意見承りセンター

JR東日本 水戸施設指令

（電話：050-2016-1651）時間：9時～17時

（電話：090-1707-3468）時間：9時～17時

AM放送運用休止 に伴う実証実験

ラジオ福島では全国の民放AMラジオ43局とともに、令和10年秋頃までにFM局になることを予定しています。

持続可能な放送を目指し、今後、AM局の運用を休止し、FM局へ生まれ変わる予定です。

AM局の運用を休止した場合のさまざまな影響を調べ、FM局になるために、12月1日から翌年の9月30日までAM原町放送局（801kHz）を休止する実証実験を行います。

なお、実証実験後も休止を継続する予定です。皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いします。

運用休止期間中は、ワイドFM（90.2MHz）やラジオで放送をお聴きできます。

また、ホームページや情報ポータルサイト「newsR（ニュースアール）」でもさま

ざまな情報をお届けします。

◎問い合わせ

ラジオ福島 編成局技術部

☎0120-010-902
（平日10時～17時）

ホームページ
はこちらから



ラジオ福島
newsR
ホームページ

Out of KidZania in ふくしま相双 を開催します

相双地域の魅力体験コーナーではロボットの操作やものづくり体験などを楽しむことができます。

日時 10月25日（土）、26日（日）
10時～16時

場所 福島ロボットテストフィールドほか（南相馬市原町区萱浜字新赤沼83）

◎問い合わせ

相双地方振興局企画商工部
地域づくり・商工労政課

☎26-11142

詳細は
こちらから



Out of KidZania
ホームページ

誕生おめでとう

(令和7年8月21日～令和7年9月20日届出)

(子ども) (親) (地区)

莉璃 江口 誠人・美幸 城内
みらい 齋藤 貴仁・恵美 鉄炮町

(敬称略)

掲載を希望しない方は、届出のときにお申し出ください。

ご冥福をお祈りします

(令和7年8月21日～令和7年9月20日届出)

(名前) (年齢) (地区)

佐藤 正 92歳 原相善
佐藤 重芳 92歳 岡
横尾 よし子 93歳 小川(特養)
渡部 和彦 62歳 原相善
加藤 サタ 100歳 小川(特養)
小泉 キイ 85歳 新地町
加藤 仁一 86歳 岡
高橋 静子 94歳 中里(特養)
渡部 洋子 53歳 岡
伊藤 實 99歳 作田
石田 たまひ 95歳 小川(特養)
(敬称略)

掲載を希望しない方は、届出のときにお申し出ください。

今月の納付

- ①固定資産税 第3期
- ②国民健康保険税 第4期
- ③介護保険料 第4期
- ④後期高齢者医療保険料 第3期

10月31日(金)までに納付、または引落口座残高の確認をお願いします。

◎問い合わせ

- ①・②税務課 (電話：62-2119)
- ③保健福祉課 (電話：62-2931)
- ④町民生活課 (電話：62-2116)

人の動き

福島県現住人口
調査月報に基づく

人口 / 7,385人 (-1)
男 / 3,674人 (+1)
女 / 3,711人 (-2)
世帯数 / 2,783世帯 (+2)
9月1日現在 () は前月比

国勢調査への回答は お済みですか

回答がお済みでない世帯は、お早めに回答をお願いします。
まだ回答がお済みでない方は、お配りしている調査書類を
ご確認ください。

インターネットでの回答が かんたん・便利です。

◎問い合わせ 企画政策課 企画情報管理係
(電話：62-2112)

8月分 ごみ収集量

町で収集している可燃、不燃、資源の
ごみ収集量です。

(単位：kg)

種別		当月収集量	前月との差
可燃ごみ		128,870	- 3,120
不燃ごみ		5,440	+ 500
資源 ごみ	ビン	4,030	+ 240
	カン	1,880	+ 140
	ペットボトル	3,080	+ 100
	容器包装	3,240	+ 280
	新聞	2,490	- 50
	雑誌	1,060	+ 250
ダンボール		2,340	+ 310

〈資源ごみ(紙類) 出し方について〉

資源ごみ(紙類)は毎月第2土曜日に回収しています。

収集日より前に収集所に出したり、紐で縛らずそのまま出す事例が見られます。

搬出時は必ず回収日と合わせ、紐等で束ねて出してください。

皆さまのご協力をお願いします。

◎問い合わせ 町民生活課 生活環境係
(電話：62-2116)

第19回市町村対抗福島県軟式野球大会 新地町チーム準々決勝進出！

広報しんち 2025年10月5日



9月14日の第1回戦では湯川村に8対1で勝利（5回コールド）。

続く21日の第2回戦は、伊達市戦で4回にツーランホームランを含む一挙6点を奪い、6対5で接戦を制しました。

27日の第3回戦では会津若松市と対戦。投手戦となりましたが、延長タイブレークで4点を奪い、8回裏も無失点に抑えて4対0で勝利し、準々決勝へと駒を進めました。



第2回戦で力投する前田陸選手



第2回戦でツーランホームランを決めた前田雅貴選手



No.652

